



2026年5月19日（火）

愛知県立大学

学務部学務課国際文化研究科

コミュニティ通訳学コース担当 卞・中島

電話 0561-76-8824

愛知県立大学大学院国際文化研究科新国際連携教育プログラムを開始

—多言語多文化社会に対応する「コミュニケーションデザイン能力」を育成—

2026年4月に愛知県立大学大学院国際文化研究科は、国際連携教育プログラム「コミュニケーションデザイン能力育成のための国際連携型プログラム（ICP: International Collaborative Program for Developing Communication Design Skills）」を開始しました。本プログラムは、文部科学省人文社会科学系ネットワーク型大学院構築事業の一環として実施され、海外連携大学である RMIT 大学（オーストラリア）、東海大学（台湾）、ハノイ国家大学外国語大学（ベトナム）、バルセロナ自治大学（スペイン）との協働により展開されます。

■ プログラムの概要

本プログラムは、以下の特徴を持つ大学院教育プログラムです。

- ・ 国際共修 PBL 科目「学外連携プロジェクト型研修」を必修とするカリキュラム
- ・ 5 科目群・計 14 単位で構成
- ・ 愛知県立大学および各連携大学の授業を組み合わせることで履修可能
- ・ 修了者にはプログラム修了証を授与

■ 背景と目的

近年、多言語化・多文化化が進展する社会において、言語や文化の違いを越えたコミュニケーションの重要性が高まっています。本研究科コミュニティ通訳学コースでは、2024年度の事業採択以降、海外連携大学と国際シンポジウム、合同授業、ワークショップ、スタディツアー等を通じて国際連携を深化させ、コミュニティ通訳を中心とした教育研究の蓄積を進めてきました。これらの成果を基盤に、多言語多文化社会におけるコミュニケーションを設計・提案できる専門人材の育成を目的として本プログラムを設置しました。

■ 本プログラムで育成するコミュニケーションデザイン能力

異なる言語背景をもつ人々の間で、通訳者・AI 翻訳・やさしい日本語などの多様な手段を適切に選択し より良いコミュニケーションのあり方を設計・提案する力

■ カリキュラム構成（5つの科目群）

1. 多文化社会研究：コミュニケーションデザイン能力育成のための多面的知識の獲得
2. 通訳・翻訳：コミュニティ通訳および調整能力の養成
3. 学術調査・発表：多言語・多様な形式での発信能力の習得
4. 言語教育：言語教育の理論と実践を通じた設計力の理解
5. 国際共修 PBL：連携大学院生との協働による実践的学習

■ 問合せ先

愛知県立大学 学務部 学務課国際文化研究科 コミュニティ通訳学コース担当

E-mail: community-renkei@bur.aichi-pu.ac.jp

TEL: 0561-76-8824 〒480-1198 愛知県長久手市茨ヶ廻間 1522-3